

平成23年2月より、検定成績表の表示を一部変更します。

概要は以下のとおりです。詳しくは、1月25日発行のLIAJニュース
(家畜改良事業団機関誌<http://liaj.lin.gr.jp/japanese/kikansiset.html>)をご覧ください。

(1)分娩予定日

次のとおり妊娠判定の方法の違いを区別できるようにします。

①妊娠鑑定報告

獣医師により妊娠を鑑定した場合その旨を牛群検定で報告できます。

この場合は、「分娩予定日」を【太字】で表示してます。

②NR法(ノンリターン)

授精を報告して、70日以上次の授精や発情が報告されない場合、妊娠と判定します。

この場合は、「分娩予定日」を【細字】で表示してます。

NR法はどうしても妊娠を誤判定する場合がありますので、①の妊娠鑑定を優先して報告するようお願いします。
また、もし、NR法により細字で分娩予定日が表示され場合は、妊娠を再度確認のうえ、次回の牛群検定で妊娠鑑定報告をしていただければ、次回検定成績表では太字により分娩予定日が表示されます。

(2)飼養形態と搾乳形態

農家の飼養形態と搾乳形態を表示します。また、例えばタイストールからフリーストールに施設を変更したときなど、その前後で検定成績がどのように変化したかわかるように表示します。

(3)管理状況

除籍牛を除く妊娠頭数、空胎日数、乾乳日数の現況のみを表示していましたが、繁殖改善の履歴が13カ月の時系列でわかるようにしてます。

(4)品 種

新たに品種表示を行い、ジャージーやブラウンスイスなども区別できるようにします。また、ホルスタインとジャージーを混飼している場合も、10頭以上繋養されているものについては、品種別の平均がわかるようにします。

また、品種構成を表示し、様式Aでは乳脂率と蛋白質率のグラフの目盛を適切なものにします。

ホルスタイン、ジャージー以外の品種を検定加入する場合、当面の間は従来通り品種コード3「その他」として検定加入願います。そのうえで、Fax様式を準備しておりますので、Faxによる報告をお願いします。